

<目次>

●大企業連合による「等々力緑地再編計画」に市民の積極的な参加を

■川崎市長は、西加瀬巨大物流倉庫計画の着工を認めるのか！②

◆2025年川崎市長選挙をめざし 第1回候補者選考委員会を開催

▲お知らせコーナー

☆5/21(日)公害・環境、健康、まちづくりフェスタ

☆5/28(日)ゆめごちライブ「李政美ライブ」

★編集後記

●大企業連合による「等々力緑地再編計画」に市民の積極的な参加を

4月28日、等々力公園周辺地域に「等々力緑地再編整備・運営事業」の「環境配慮計画書」の説明会の案内が配布されました。

説明会は5月13日10時～14時40分と15日15時～19時40分ですが、それぞれ40分間の説明会を5回行うことになっています。

説明会と合わせ環境配慮計画書について市民意見を募集しており、区役所かネットで閲覧することが出来ます。パブコメ提出期限は5月22日です。

川崎市：等々力緑地再編整備・運営等事業に係る環境配慮計画書

等々力再編整備については、すでに昨年11月に民間事業者の選定が決まり、今年1月に東急株式会社を筆頭とする特別目的会社を設立しています。

東急、富士通、丸紅、オリックス、フロンターレ株、大成建設、フジタ、東急建設など、大企業が共同出資する「川崎とどろきパーク株式会社」を4月に発足させます。

(計画概要)

- ・等々力陸上競技場を釣池の西側に移転し、跡地に球戯場専用スタジアムを建設。
- ・ミュージアムを解体しアリーナとスポーツセンターを建設。(市民ミュージアムは向ヶ丘公園へ移設)
- ・テニスコートを緑地北側に移設。現テニスコートは駐車場に。
- ・多目的広場(宮内中の前)を駐車場に。

- ・運動広場、多目的広場を緑地北側に設置。
- ・等々力球場北側に散策路や子どもの遊び場を設ける。
- ・中央道路（小杉神社と釣り池の間）を廃止。釣り池の東側に車道を設置し、西丸子小西側の車場上に開通させる。

等々力緑地再編が大企業のぼろもうけの事業になるのでは？と案じられます。あまりにも規模が大きくて、市民がどういう意見を出していけるのか雲をつかむようですが、市のホームページの「環境配慮計画」（238ページ）から関心のあるところを見てください。

私もところどころの拾い読みをしましたが、けっこう問題個所が見つかりました。例）ミュージアムの水害、サッカー開催時の近隣への騒音、観客の道路混雑、緑の保全、市民の憩いの公園機能、施設の利用料金、景観、事業者利益と市の収入、再編整備の経費の負担などなど。

この事業は周辺住民だけの問題ではなく、全市的な課題だと思います。ぜひパブコメに意見を上げて行きましょう。

また、意見書案をそれぞれメールなどで意見交換して行きましょう。

小杉・丸子まちづくりの会 橋本

■川崎市長は、西加瀬巨大物流倉庫計画の着工を認めるのか！②

4月11日、住宅地のだ真ん中に24時間フル稼働の巨大物流倉庫を建てる「西加瀬プロジェクト」について、川崎市環境アセス審議会の「審査書」が公告されました。前回のメルマガでは、審査書の全体評価として、欠陥だらけの「準備書」を肯定している問題点を指摘しました。

今回は、この審査書が、中止を求める住民の願いに運動に役立つ面があるかを検討します。

「審査書」は、全般的事項の2で「本審査書」の内容の確実な遵守が工事着手の前提としました。

一方、「審査書」では、「準備書」のあいまいな点を数カ所で指摘しています。以下、概略を審査書本文から紹介します。

ア、大気質

窒素酸化物の排出量をさらに低減するため、考えられる種々の方策を組み合わせるなど、一層の低減対策を徹底すること。

イ、緑の質と量

現況地盤の土壌状態は樹木の生育には適さない→植栽基盤の整備に当たっては、樹木の育成を支える十分な土壌厚の確保について、市関係部署と協議すること。

ウ、騒音

等価騒音レベルが昼間及び夜間において住居位置で環境基準値を上回る地点がある→騒音の影響をさらに低減するための方策について検討すること

ク、風害

風環境の予測条件として、具体的な計算条件及び風環境評価指標の適用等につて、妥当性も含め、条例環境影響評価書において明らかにすること。

ケ、地域交通

車両ルートが通学路を横断又は並行する箇所があること、歩車分離がなされていない区間があること→交通安全対策について一層の検討を行い、その結果例評価書で明らかにすること

審査書は、事業者に対し、「本審査書の確実な実行」を求めています。事業者がこれまでのような実効性のない対策しか示さない「評価書」を作成した場合には、「着手制限解除」（工事開始）をしないように強く求めます。

[\(仮称\)西加瀬プロジェクトに係る条例環境影響評価審査書の公告](#)

◆ 2025年川崎市市長選挙をめざし 第1回候補者選考委員会を開催

はじめに

昨年度の川崎市議会では、西加瀬巨大物流倉庫建設中止の請願、子どもの医療費拡充請願、少人数学級拡充と先生の欠員をなくす請願、給食費無料化を求める請願が、次々と不十分な審議のままに、不採択となりました。

一方で、川崎福田市政は、いきなり、ぜん息患者医療助成制度と小児ぜんそく患者医療費支給制度の廃止を強引にすすめています。

さらに、住民生活を破壊する大企業による大規模事業が市内各所で加速しています。

例えば、ダイワハウス工業の西加瀬物流倉庫建設、JR東海のリニア調査掘進の開始、東急資本による鷺沼駅前再開発、登戸駅前再開発などです。

そして、これらに対し、市民による反対運動が広がっています。

そして、運動を担っている方から「運動を成功させるためには、どうしても市民の声を聞き、市民に寄り添ってくれる市長が必要だ！」との声も強くなっています。

2025年川崎市市長選は、国言いなり・大企業優先の福田市政と、市民の要求に背を向け、福田市政を支えてきた市議会多数派に対し、いのちと暮らしを守る市民の共同の力で、川崎市政を変える政治決戦になることは明らかです。

候補者選考委員会の開催

川崎民主市政をつくる会は、2年後の2025年市長選準備の第1歩として、4月28日、候補者選考委員会を開催しました。

新婦人、川崎労連、文化会議、医療の会など団体会員から選出された選考委員、7名が参加しました。

2021年以来の再開でもあり、最初は、この間の川崎市政をめぐる市民運動と行政の対応を話し合ったのち、次の基本方針をもとに、2025年市長選挙での大きな前進のために、活動を開始することにしました。

基本方針1 市民と野党の共闘を進めることを大事にして、候補者選出をすすめる。

基本方針2 同時に、川崎民主市政をつくる会の参加団体からの候補者の推薦をお願いしていく。

メルマガ読者のみなさんからも、市長選候補者の積極的な推薦をお寄せください。

川崎民主市政をつくる会 市古ひろかず

▲ お知らせコーナー

☆公害・環境、健康、まちづくりフェスタ

5/21(日)11時～15時

武蔵溝の口駅ペディスタルデッキ

主催：「公害・環境、健康、まちづくり」フェス実行委員会

連絡先 川崎公害病患者と家族の会内 044-211-0391

☆ゆめごこちライブ「李政美ライブ」

5/28(日)14時

かわさきゆめホール

一般：2500円、障がい者・学生以下：1000円

主催：ゆめホールライブ実行委員会

お問合せ 044-433-3003

hall@kawasakiyume.com

<https://onl.bz/wKfK7R7>

★ 編集後記

コツコツと積み重ねてきたゆめシネマは24回を数え、メルマガ読者も200人を超えるところまで来ました。

一方、メルマガ「新しい川崎」は今回で70号。読者数は未だに188人と低迷を続けています。

これで市政を変えるなんてへそで茶を沸かすレベル。
ホームページの更新も停滞中。

そういえば、市議選、県議選でも「選挙ドットコム」を使いこなしていた候補者の得票がかなり伸びていました。

ネット情報に選択肢を求める有権者がかなりの量にいる事は間違いなく、政策を有権者に届けるツールは多い方が良いに決まっています。

「スマート選挙」なる WEB サービスは、「導入者の 98 %が当選」を謳っています。基礎票を固めるのが精一杯なのに本気で当選を勝ち取るなら選択肢に上がってもおかしくない。

どぶ板選挙で勝ち、ネット選挙でも勝つ。そういう戦略が求められています。次の市長選挙候補者を考える時期になってきましたが、さあ、どう闘うか。市政を市民に取り戻す闘いはもう始まっています。(Y)